

「NTT 東日本札幌病院に通院中または通院されたことのある患者さんまたはご家族の方へ」（臨床研究に関する情報）

1. 研究名称 胸腔内で縫着した遊離脂肪組織片径の長期経過に関する検討

2. 研究機関：NTT 東日本札幌病院

研究責任医師 道免 寛充

研究分担者 山田 秀久

研究分担者 岩村 八千代

研究分担者 市之川 一臣

研究分担者 林 真理子

3. 目的と意義

手術後に気管支や肺から空気が漏れるのを予防することを目的に有茎生体組織（血管がつながった状態の筋肉や脂肪など自分の体の一部分）による被覆や充填術が施行されることが一般的には多いですが、当科では患者さんの負担がより少ない遊離脂肪組織片（血管がつながっていない状態の脂肪組織）を気管支や肺に縫着する方法を2019年2月より行って、良好な結果が得られています。一方、このような遊離組織が長期間経過後にどのような変化を来すかについては現在まであきらかになっていません。これをあきらかにすることで、今後も現状のままの方法でよいのか、それともより安全で確実な方法への改善点があるのかなどがわかることとなります。

4. 研究の方法

2019年2月から2020年10月に当院で行った呼吸器外科手術のうち、遊離生体組織を気管支や肺に縫合した18例について電子カルテで得られたデータを解析します。

5. 研究対象者の選定方針

2019年2月から2020年10月に当院で行った呼吸器外科手術患者様のうち、遊離生体組織を気管支や肺に縫合した18人の患者様です。

6. 研究の合理的根拠

治療結果の解析

7. インフォームド・コンセントを受ける手続き

2019年2月から2020年10月までの期間にNTT東日本札幌病院外科において呼吸器外科手術を受けた患者さんの中で、この研究に診療情報を提供したくない方は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

8. 経済的負担について

なお、この研究を行うことで患者さんに費用などの負担は生じません。

9. 研究結果の公表

学会での発表及び学会誌への掲載を予定

10. 個人情報の取り扱い

お名前、住所等、患者さんを直接特定できる情報は収集しておりません。

また、本調査結果として公表する内容は、集計結果に基づくものであり、医療機関名、医師名、患者さんを特定する個人情報（生年月日、イニシャル等）は含みません。

上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

担当医師：NTT東日本札幌病院 外科 道免 寛充
060-0061 北海道札幌市中央区南1条西15丁目
電話 011-623-7520